

令和6年度
東京都江東治水事務所長優良工事等及び
建設業担い手確保・育成貢献工事等表彰式



令和6年11月27日（水）に「令和6年度 東京都江東治水事務所長優良工事等及び建設業担い手確保・育成貢献工事等表彰式」が開催されました。

東京都建設局では優良工事等や建設業の担い手確保・育成に貢献した工事等を施工して頂いた皆様を表彰しております。

塚田所長からは以下のとおり謝辞が述べられ、受賞者に賞状が贈呈されました。

(塚田所長謝辞要旨)

このたび受賞される皆様、おめでとうございます。

当事務所が所管する、いわゆる東部低地帯には約300万人もの都民が生活しており、台風や高潮などで浸水被害がひとたび発生すると、その規模は甚大なものとなります。

このため、防潮堤、護岸、水門及び排水機場などの河川施設を整備することが重要です。また、いつ来てもおかしくないと言われる大地震でも、それら河川施設が致命的に損壊しないよう、耐震対策も併せて整備しております。

これら施設整備の最前線を担っていただいているのが、皆様をはじめとした建設業及び建設関連業の方々と、地域にとってなくてはならない存在だと認識しております。

このたび受注された工事や設計、調査では、汐待ちや搬入路がない狭隘な現場条件、それらを踏まえた綿密な施工計画の検討が必要など、様々なご苦勞があったものと思います。

本日受賞される皆様におかれましては、持ち前の高い技術力や豊かな経験に加え、熱意や創意工夫をもって立派に業務を遂行され、優良な成績を収められました。

また昨今は、建設業の担い手確保やその育成などが受発注者共通の大きな課題となっております。このため、女性技術者の登用をはじめ、作業環境の改善、大学と連携した現場見学会の開催など、将来の建設業界の健全な成長に貢献いただいた受注者の方々も併せて表彰させていただきます。

表彰されることは、皆様の栄誉を称えるだけでなく、他の者の模範となってほしいとの願いもあります。是非その認識を賞状とともに持ち帰って、引き続き取り組みを進めていただきたいと考えております。

当事務所では、「TOKYO 強靱化プロジェクト」に位置付けられている耐震対策事業を筆頭に、スーパー堤防整備事業など、東部低地帯の安全安心のため、今後も引き続き工事・設計・調査を計画的に発注してまいりますので、皆様の更なるご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今年度の受賞者、受賞件名及び受賞理由は次のとおりです。

東京都江東治水事務所長優良工事等

有限会社阿蘇建設

上平井水門耐震補強工事に伴う取付堤防耐震補強工事

<受賞理由>

本工事は、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても護岸等の機能を保持し浸水被害などを防ぐことを目的に、上平井水門耐震化に伴い左岸側既設取付堤防の耐震補強を行ったものである。

受注者は、地中障害物の発見から試掘等調査、対策工法の提案及び施工の流れを迅速に行い、工程への影響を最小限に止めた等、施工に当たっての熱意と創意工夫が優れていた。

【施工前】



【施工状況】



新日本工業株式会社

中川防潮堤耐震補強工事（その204）

＜受賞理由＞

本工事は将来にわたって想定される最大級の地震が発生した場合においても、堤防等の施設が機能を保持し、津波等による浸水被害を防ぐことを目的に防潮堤の耐震補強を行ったものである。

受注者は、法面工において ICT 技術を活用した施工管理を行い、作業の生産性向上に貢献し、品質管理・出来栄も優秀であった。

また、安全衛生管理もクレーン使用時は吊荷警報機による注意喚起、バックホウ使用時はトラポンタによる接触防止を行うなど、施工に当たっての熱意と創意工夫が優れており、他の模範となるものであった。

【施工前】



【施工状況（手前側：法面復旧工奥側：地盤改良工）】



ジー・アール・エンジニアリング 株式会社

平久川護岸耐震対策詳細設計（その6）

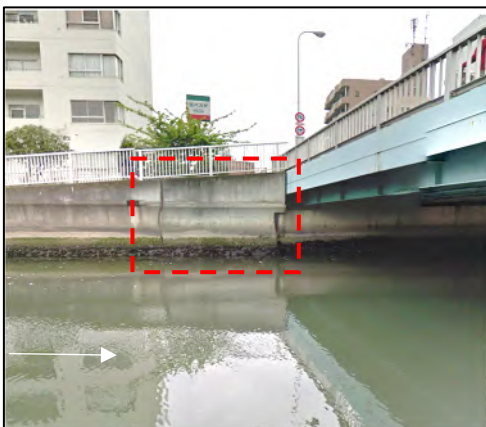
<受賞理由>

本委託は、平久川の大和橋の摺り付け護岸について耐震性能照査および対策工の3断面の検討を行い、工事発注に向け施工計画、図面作成、数量計算書の作成を行うものである。また、令和4年度で実施した仙台堀川（亀久橋～木更木橋）と平久川（大和橋上流～首都高上流）と併せての図面・数量を合成するものである。

本設計区間は、大和橋（都道）近接部の端部断面の解析を取りまとめた上で、既往成果の仙台堀川及び平久川の一般部を含めて工事発注するため、施工計画の整合及び合理性を検討する必要が生じた。受託者は、川幅も狭く、大和橋の桁下が非常に低い等、困難な施工条件下において、極めて綿密な計画を立案し、成果品の品質を大きく向上させた。

また、首都高下の工事ヤードを使用できる期限が決められており、工事発注までの期間が限られた中で、十分な検討を重ねて、現場条件に適した施工計画を立案し、工期内に収まる工程を作成した。

【大和橋上流左岸】



【大和橋下流右岸】



株式会社ピーシーエー・シー・エル・エー・エー・エル・エー

隅田川（駒形橋上下流）左岸防潮堤耐震対策詳細設計

<受賞理由>

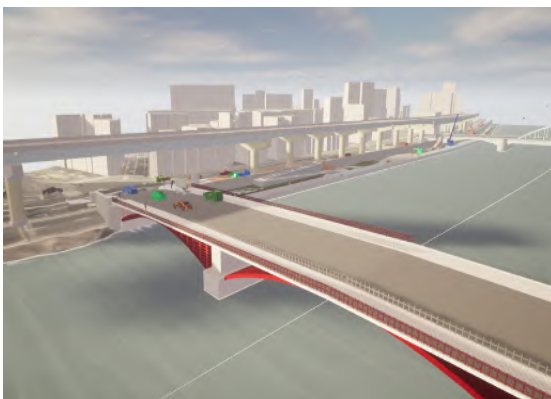
本委託は、隅田川（駒形橋上下流）左岸側防潮堤の対象区間におけるレベル2地震動に対する耐震性能照査を行うとともに対策工の検討を行い、最終的に決定した対策工に対する詳細設計を行ったものである。

受託者は、施工方法の検討において3Dモデルを構築し、委託者と既設構造物や施工方法の共有を行い、課題の早期発見・解決したことで、工事の早期発注に貢献した。

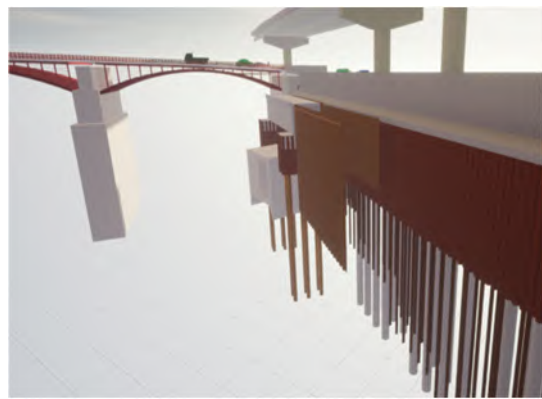
また、打合せでは、補足資料を別途作成し、監督員の理解度に合わせた内容説明を実施した。

以上の理由により、受託者が本業務を遂行する十分な提案力及び技術力を有していることや、積極的な姿勢で責任感を持って業務にあたったことは、他の模範となるものであった。

【3Dモデル全体図】



【地中埋設物検討資料】



株式会社日本インシーク

隅田川（千住大川端地区）調査測量（その３）

<受賞理由>

本委託は、隅田川(千住大川端地区)におけるスーパー堤防整備に先立ち、約3万㎡の現地測量を行うとともに、新旧河川区域線・河川保全区域線等を測設するため320mの路線測量、約6万㎡の用地測量等を行った。また、新河川区域の予定線等を各地権者・管理者等に立会確認してもらい、了解を得た。

受託者は、現地測量において通常の測量とともに、地権者説明等に用いることなどを想定して三次元点群データを自主的に取得した。点群データを活用した説明資料は、地権者にもわかりやすいと好評であった。

さらに、土曜日の民地作業など、限られた日時で複雑な測量を実施せざるを得ない中、各地権者等と調整し、遅滞なく作業を進めた。

これらの理由により、本委託は成果が優秀であり、さらに事業の遂行に大きく貢献したことから、他の模範となるものであった。

【三次元点群データを用いた地権者説明】



建設業担い手確保・育成貢献工事等

SMCシビルテクノス株式会社

仙台堀川護岸耐震補強工事（その8）

<受賞理由>

本工事は、「東部低地帯の河川施設整備計画（平成24年12月）」に基づき、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても施設が機能を保持し、津波等による浸水を防止することを目的とし、河川施設の安全性を高めるため、仙台堀川（海辺橋～木更木橋区間）において護岸の耐震補強を行ったものである。

東京都建設局では、建設業界への入職促進や就労継続等に向けた環境整備を、官民挙げて推進している。また、将来に渡り社会資本を安定的に整備・維持管理していくために、建設業界の若手技術者及び技能者を確保・育成していくことを必要としている。

受注者は、建設現場の労働環境を改善する取組として、シャワールームを休憩所に設置し、熱中症対策や土砂撤去作業時の現場作業員の衛生環境の向上を図った。

さらに、地元住民から夜間騒音に対する苦情が入った際には、迅速に対応して工事への理解と協力を得た。また、深川さくらまつり時の景観確保のため横断幕を設置したほか、グリーン電力を使用し、環境負荷の低減を図った。

以上の理由により、受注者は建設産業への入職促進や就労継続等に向けた環境整備に貢献するとともに、近隣住民へ配慮した施工において他の受注者の模範となるものであった。

【シャワールームの設置】



【さくらまつり時の景観対策】



徳倉建設株式会社

旧江戸川防潮堤耐震補強工事（その２０６）

<受賞理由>

東京都では東日本大震災を踏まえ、将来にわたって想定される最大級の地震が発生した場合においても、堤防等の施設が機能を保持し、津波等による浸水被害を防ぐことのできる堤防づくりを進めている。

本工事は、旧江戸川において、既設護岸直下地盤改良（高圧噴射攪拌工）及び既設護岸前面にコンクリート増厚工を行い、耐震補強を行う工事である。

東京都建設局では、将来に渡り社会資本を安定的に整備・維持管理していくために、建設業界の若手技術者及び技能者を確保・育成していくことを必要としている。

受注者は、社として現場見学会の募集を行い、希望者の千葉工業大学に対し当現場で見学会を開催した。見学会当日は参加した１７名の学生に、座談会や現場見学で地盤改良の現場管理等についての説明、建設業のやりがいをアピールした。

以上により、建設公共工事の効果と必要性を広く周知するとともに、魅力ある建設業をPRし、明るい建設業界の構築に十分に貢献した。

【大学生現場見学会】



若築建設株式会社

新中川護岸耐震補強工事（その１７）

<受賞理由>

本工事は、東日本大震災を踏まえ、想定し得る最大級の地震が発生した場合においても堤防の機能を保持し浸水を防止するために、新中川（高砂諏訪橋上流右岸、施工延長 150m）において「地盤改良工による護岸の耐震補強」を行ったものである。

受注者は、工事事故防止の観点から、VR を活用して実際の事故を仮想体験させる安全教育を行い実施し、優良な安全活動を行った。

施工にあたっては、工事を円滑に進めるための仮設坂路を自主的に設けるとともに、地盤改良下端付近に固い層が想定されていたことから、受注者自らプレジェット工法を採用するなどし、工期内に工事を完了させた。

さらに、女性技術者（監理技術者）を工事全期間で配置するとともに、大学と連携した現場見学会の実施や広報活動を行った。

【現場見学会の様子（座談会時）】



北野建設株式会社

平久川護岸耐震補強工事（その5）

<受賞理由>

本工事は、「東部低地帯の河川施設整備計画（平成 24 年 12 月）」に基づき、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても施設が機能を保持し、津波等による浸水を防止することを目的とし、河川施設の安全性を高めるため、平久川（鶴歩橋～汐見橋区間）において護岸の耐震補強を行ったものである。

東京都建設局では、女性の建設産業への入職促進や就労継続等に向けた環境整備を、官民挙げて推進している。また、将来に渡り社会資本を安定的に整備・維持管理していくために、建設業界の若手技術者及び技能者を確保・育成していくことを必要としている。

受注者は、女性技術者（工期途中から現場代理人に変更）を工事全期間で配置し、第4回 CCI 東京建設業若手・女性活躍大賞を受賞するとともに、主に女性技術者を対象とした現場見学会の実施や広報活動を行った。

さらに、生活動線の確保を目的とした機材配置の変更や、段取り替えの度に防音防塵シートを移設することで細やかに騒音・粉塵対策を講じるなど、近隣住民へ十分に配慮した施工を行った。

以上より、受注者は女性の建設産業への入職促進や就労継続等に向けた環境整備に貢献するとともに、近隣住民へ配慮した施工において他の受注者の模範となるものであった。

【女性技術者による現場見学会実施状況】



みらい建設工業株式会社

綾瀬川護岸耐震補強工事（その２１６）その２

<受賞理由>

東京都では東日本大震災を踏まえ、将来にわたって想定される最大級の地震が発生した場合においても、堤防等の施設が機能を保持し、津波等による浸水被害を防ぐことのできる堤防づくりを進めている。

本工事は、綾瀬川において、既設護岸直下の地盤改良（高圧噴射攪拌工）及び既設護岸フーチング部にせん断補強鉄筋を増やし、耐震補強を行う工事である。

東京都建設局では、女性の建設産業への入職促進や就労継続等に向けた環境整備を、官民挙げて推進している。また、将来に渡り社会資本を安定的に整備・維持管理していくために、建設業界の若手技術者及び技能者を確保・育成していくことを必要としている。

受注者は、社として女性技術者を積極的に現場登用する取組を行っている。当現場では、女性技術者を現場代理人として配置し、施工を行った。また、東京電機大学から授業の一環として現場見学の要望があり、当現場で見学会を開催した。見学会当日は、大学生６名、大学教員１名の計７名に対し、コンクリートの保全・補修方法やAR技術等について説明を行い、建設業のやりがいアピールするだけでなく、女性技術者の働き方及び活躍を紹介した。

以上により、建設公共工事の効果と必要性を広く周知するとともに、魅力ある建設業をPRした。さらに、女性の建設産業への入職促進及び明るい建設業界の構築に十分に貢献した。

【女性技術者（右から１人目）による作業指示状況】

